

「ジュエリーの世界史」

山口 遼 著

嬉しいことに、昭和62年11月新潮選書として刊行された「ジュエリーの話」が加筆改題されこの7月新たに出版されました。

私たちが扱っている装身具とりわけ宝飾品の歴史が古代より現代までいかに長くまた世界各地の人々の暮らしとかかわってきたか、そしてこれら宝飾品の美しさ、多彩さ、文化が詳しく書かれています。

第2章の「歴史を作った男たち」では世界的ブランドが紹介され行間から人々の息遣いさえ感じられます。また第4章の2「珍しい素材」で紹介されている竜涎香なる物質にはことのほか驚かれることでしょう。

このように内容豊富にもかかわらず何時でも何処でも手軽に読める文庫本で、金額もわずか637円(税込)とはありがたい限りです。お読みになれば明日からの仕事に役立ち、お客様との会話に幅ができ自信につながることも必定で、安い投資で大きな成果を手にすることができる見逃せない名著と申せましょう。

